

森兼啓太

MORIKANE, Keita



ご専門：感染症学，感染制御学，
外科学

読者へ：新型コロナウイルス感染症の流行は先が見通せない状況となっています。将来の医療は？そして世の中はどのようなのか？未曾有の出来事に対して、我々はどのように立ち向かっていけばよいのでしょうか？それらを考えるうえで、本稿が少しでもお役に立てば幸いです。

五十嵐義浩

IGARASHI, Yoshihiro



ご専門：呼吸療法，集中治療，
機器管理

読者へ：ダイヤモンド・プリンセス号の到着以来、「できない理由を探すより，できるための方法を探す」を合言葉に，感染リスクのあるなか，新型コロナウイルスと闘ってきました。当院の呼吸管理に関するさまざまなアイデアや経験を，少しでも多くの方に伝えられれば嬉しいです。

菊地 勘

KIKUCHI, Kan



ご専門：腎臓内科，血液浄化療
法科。特に感染対策，災害対策

読者へ：透析治療は密集かつ集団で行われることから，飛沫感染や接触感染が伝播しやすい環境です。平時より，ガイドラインに準拠した感染対策および患者教育，スタッフ教育を行うことが重要です。

市場晋吾

ICHIBA, Shingo



ご専門：救急・集中治療医学，
人工臓器学（ECMO）

読者へ：COVID-19 対策の近未来は暗中模索といえますが，この手強い敵の情報もかなり得られ，基本的な戦略がわかってきました。集中治療室での感染対策や患者管理のノウハウについて，日々の情報に遅れないように，またできることを工夫する必要があります。

百瀬直樹

MOMOSE, Naoki



ご専門：体外循環，補助循環，
ものづくり

読者へ：新型コロナウイルス感染症対策では，読者の皆さんも苦勞されていると思います。私が COVID-19 における ECMO 治療で改めて感じたのは，患者を助けようと思う医療者の強い意志とチームワークの重要性です。これは臨床工学技士のすべての仕事において欠かせないものです。

本間 崇

HONMA, Takashi



ご専門：医療安全，血液浄化

読者へ：臨床工学技士にとって、医療機器を安全に使用することは大変重要なことであります。読者の皆さんが、本誌により常に最新情報を入手し、実践に活用していただくことを期待いたします。

中村新一

NAKAMURA, Shinichi



ご専門：血液浄化療法

読者へ：現在，臨床経験で得た知識を踏まえ教育現場で学生への教育・指導を行っています。臨床工学技士の業務は今後も飛躍していくと思います。これからも臨床工学技士の魅力を多くの学生へ伝えていきます。

吉田哲也

YOSHIDA, Tetsuya



ご専門：医療機器開発，不整脈（植込み型デバイス）

読者へ：新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け，経済産業省災害対策室で人工呼吸器などの確保に当たりました。政府内では，人工呼吸器やECMOの専門家である臨床工学技士の存在感が際立ちました。これも，これまで臨床現場を支えてこられた皆さまの力だと感じております。

野口裕幸

NOGUCHI, Hiroyuki



ご専門：呼吸療法，医工連携，学生教育

読者へ：世界的には挿管ボックスが使われました。が，その欠点を補う商品がほしいというニーズに応える形で，今回の医工連携が進みました。図らずも，新型コロナウイルス感染症の流行により，いろんなところで大変革が起きています。医療だけでなく，町工場（工業）の方々の意欲も向上しており，医工連携も進みやすくなっていると思われます。その1例としてご紹介させていただきました。本稿をきっかけに，「自分でもできる」という気持ちになっていただければ幸いです。

[特集]

新型コロナウイルス 感染症と クリニカル エンジニアリング